

いく。このことを通して、「世界救世教（新生派）」と「MOA 世界救世教（再建派）」の「科学的様式化」を捉えることができるだろう。そしてまた、宗教は科学に対して対極にありつつ、「科学的様式化」とは異なる重要な問題をも提起していることを示そう。

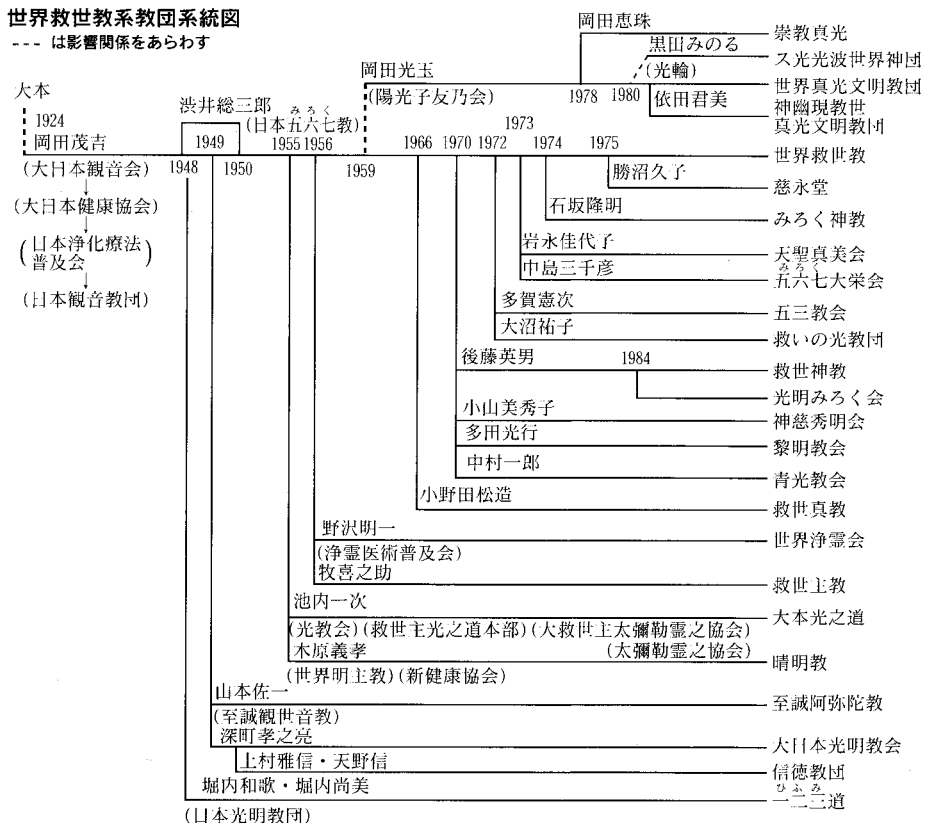
二 <世界救世教>、<世界救世教系教団> —「世界救世教（新生派）」と「MOA 世界救世教（再建派）」、そしてその教え

<世界救世教系教団>とは、<世界救世教>からの分派教団、あるいは影響を被っている（<世

界救世教>からの直接的な分派ではなく、<世界救世教>の教祖である岡田茂吉の教えに影響を受けている）教団群のことを指す総称である⁹⁾。そうした教団は必ずしも同一の活動を行っているわけではなく、後述している岡田茂吉の教えのうちのある一部を強調したりして—例えば「浄霊」を強調したりして、差異化している。とくに本稿が分析対象とするのは、<世界救世教系教団>のうちの「世界救世教（新生派）」と「MOA 世界救世教（再建派）」である（以下、「世界救世教」、「MOA」と記す。なお二つの教団を包摂する場合は<世界救世教>と記す）。この二つの教団は、とくに<世界救世教>との関わりが深く、その思想を継承しているので、まず、<世界救世教>についてふれておこう。

5) 図1参照。『新宗教事典』によれば、それぞれの教団の設立時期によって、岡田茂吉の位置づけやその教えの理解、教団活動に差異があることが指摘されている。

図1 世界救世教系教団系統図



(『新宗教事典』より転載)